

暴風雪による人への影響

吹きだまり

暴風と視界不良による歩行困難

暴風による飛散物

停電

低体温症

吹きだまり

風で飛ばされた雪は、
「風の弱まった所」「低い所」
に積りやすく、吹きだまります。



風が弱い時



風が強い時

吹きだまった雪で車のマフラー
や家の暖房等の給排気口が
塞がると、一酸化炭素中毒を
起こす可能性があります。



吹きだまりで雪に埋まった車

暴風と視界不良による歩行困難

強い風により真っすぐに歩くことができなくなります。

雪で数メートル先も見えなくなり、方向感覚を失って、自分のいる場所が分からなくなります。

車のドライバーからも視界不良で歩行者が見えずらくなるので、歩行も危険になります。



暴風による飛散物

激しい風により、思わぬものが飛んできて、大けがをすることがあります。

▼屋根や看板、切れた電線

小さな飛散物や氷(つらら等)でも、風が強いときには窓ガラスなどが割れることもあります。



停 電

暴風や飛散物等によって電線が切れると、停電となります。

▼照明や暖房が使えない

天気が回復するまでは、停電の復旧作業が行えないため、停電が長期化する場合があります。



低体温症

風と雪によって体の熱が奪われると、体温が急激に低下します。

▼体温：35度以下
歩行がふらつく、震えは最大になる。

▼体温：33度以下
意識不明になる。

▼体温：30度以下
震えも起こらず、(半)こん睡状態になる。
更に加速度的に体温が低下し、やがて心臓停止に至る。

